

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

TECHNICAL FIELD

[Field of the Invention] This invention relates to the armrest for cars which started the armrest for cars installed in the door trim for automobiles by which interior is carried out to the side-attachment-wall panel of a car, a rear corner trim, etc., was equipped with the good impact absorption function, without spoiling the feel at the time of crew hanging an elbow especially, and strengthened the rigidity over a normal load.

[Translation done.]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特許公報 (B 2)

(11) 特許番号

第 2 9 7 2 1 3 7 号

(45) 発行日 平成11年(1999)11月8日

(24) 登録日 平成11年(1999)8月27日

(51) Int. Cl. °

識別記号

F I

B 6 0 N 3/00

B 6 0 N 3/00

C

請求項の数 2

(全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-91406

(22) 出願日 平成8年(1996)4月12日

(65) 公開番号 特開平9-277863

(43) 公開日 平成9年(1997)10月28日

審査請求日 平成10年(1998)5月27日

(73) 特許権者 000124454

河西工業株式会社

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

(72) 発明者 上部 修

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西

工業株式会社寒川本社工場内

(74) 代理人 弁理士 和田 成則

審査官 中田 誠二郎

(56) 参考文献 特開 平7-223476 (J P, A)

実開 昭62-129335 (J P, U)

(58) 調査した分野 (Int. Cl. 6, D B 名)

B60N 3/00

(54) 【発明の名称】 車両用アームレスト

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 合成樹脂の射出成形体からなるアームレストコア (30) 表面に手触り感の良好なアームレスト表皮 (40) を被覆してなり、ドアトリム等の内装部品 (10) の表面所定箇所に装着される車両用アームレスト (20) において、

前記アームレスト (20) に乗員が肘を掛けて垂直荷重

(P1) を加える肘掛け部 (A) におけるアームレストコア (30) は、少なくとも一般部の厚みの半分以下に薄肉化された薄肉部 (31) として設定されているとともに、この薄肉部 (31) 裏面に菱形状リブ (32) が一体形成され、車幅方向の外力に対してアームレストコア (30) に撓み性が付与されていることを特徴とする車両用アームレスト。

【請求項 2】 前記アームレストコア (30) の薄肉部

2

(31) に車両の前後方向に沿うスリット (33) が開設されていることを特徴とする請求項 1 記載の車両用アームレスト。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、車両の側壁パネルに内装される自動車用ドアトリム、リヤコーナートリム等に設置される車両用アームレストに係り、特に、乗員が肘を掛けた際の感触を損なうことなく良好な衝撃吸収機能を備え、かつ、垂直荷重に対する剛性を強化した車両用アームレストに関する。

【0002】

【従来の技術】 通常、車両の側壁に内装される自動車用ドアトリムやリヤコーナートリム等にはアームレストが設置されており、乗員が肘を掛けてくつろいだ姿勢をと

にポリエチレンフォーム、ポリウレタンフォーム等の発泡層を裏打ちした積層シート材料を使用して良く、これらアームレスト表皮40の仕様については、ドアトリム10の表皮材12に使用する材質との関係でコントラスト効果を高めることができるような材料の選択がなされて良い。

【0032】次いで、図6は本発明に係る車両用アームレスト20の別の実施形態を示すもので、重複する部位は同一番号を付し、その詳細な説明は省略する。

【0033】この実施形態においては、アームレストコア30の薄肉部31に車両の前後方向に沿うスリット33を開設したことが特徴である。

【0034】すなわち、このスリット33を開設することにより、例えば、車幅方向に沿う外力が加わった際、このスリット33の幅が収縮することにより外力を吸収することができるとともに、このスリット33を基点として、アームレストコア30の破断を促進させることができるという作用がある。

【0035】従って、スリット33を開設することにより、より衝撃吸収機能を高めることができる。

【0036】尚、上述した実施形態は、車両用アームレスト20をドアトリム10に設置したものを示したが、リヤコーナートリムに適用することも可能である。

【0037】

【発明の効果】以上説明した通り、本発明に係る車両用アームレストは、以下に記載する格別の作用効果を有する。

【0038】(1) 本発明に係る車両用アームレストは、肘掛け部におけるアームレストコア上面はフラット状であるため、乗員が肘を掛けてくつろいだ際、従来のように乗員に凹凸感を与えることがなく、良好な表面接触が得られるという効果を有する。

【0039】(2) 本発明に係る車両用アームレストは、肘掛け部のアームレストコアを薄肉部に設定するとともに、この薄肉部の裏面に菱形状リブを設定するという構成であるため、側突等、車両の側方から衝撃が加わった際、菱形状リブにより支障を受けることなく、薄肉

部が容易に撓み、かつ、所定値以上の衝撃で薄肉部が破断を誘発するため、車幅方向に沿う外力に対して衝撃荷重を有効に吸収でき、乗員の安全性を高めることができるという効果を有する。

【0040】(3) 本発明に係る車両用アームレストは、肘掛け部のアームレストコアを薄肉部に設定するとともに、この薄肉部裏面に菱形状リブを形成するという構成であるため、この菱形状リブによりアームレストに加わる垂直荷重、あるいは振れ変形を誘発する荷重に対して強固な剛性を確保することができ、初期形状を長期に亘り維持することができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る車両用アームレストをドアトリムに設置した一実施形態を示す正面図。

【図2】図1中II-II線断面図。

【図3】本発明に係る車両用アームレストの一実施形態を示す断面図。

【図4】図3に示す車両用アームレストを裏面側から見た要部斜視図。

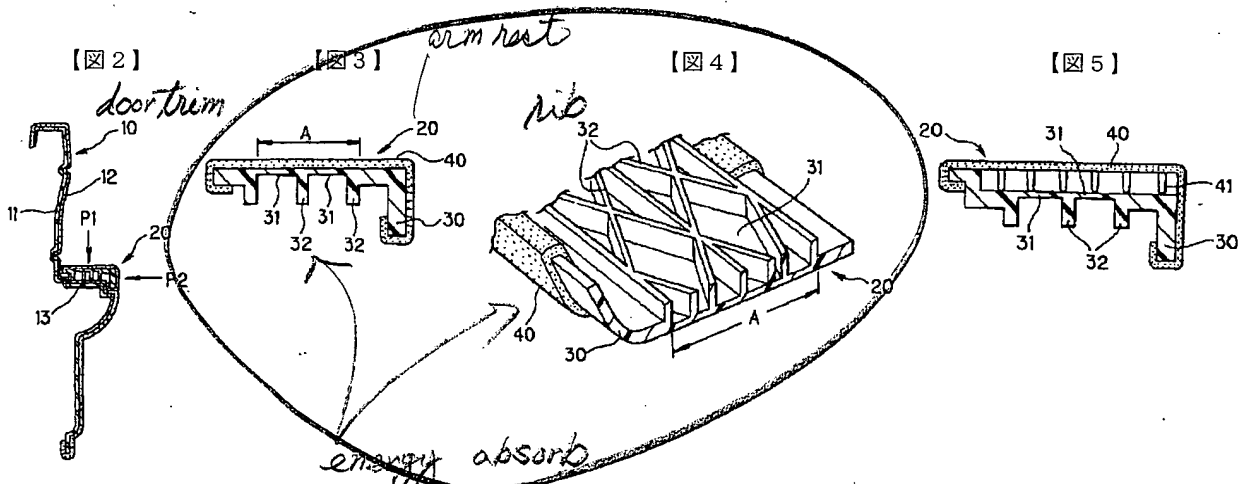
20 【図5】本発明に係る車両用アームレストの変形態様を示す断面図。

【図6】本発明に係る車両用アームレストの別の実施形態を示す裏面側から見た要部斜視図。

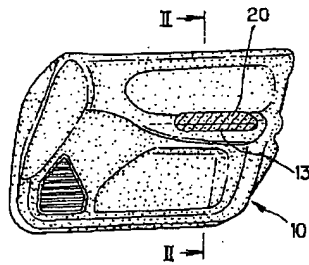
【図7】従来の車両用アームレストを示す一部破断斜視図。

【符号の説明】

- 10 自動車用ドアトリム
- 11 樹脂芯材
- 12 表皮材
- 20 車両用アームレスト
- 30 アームレストコア
- 31 薄肉部
- 32 菱形状リブ
- 33 スリット
- 40 アームレスト表皮
- 41 スペーサリブ

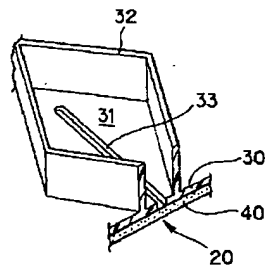


【図 1】



- | | |
|--------------|-------------|
| 10 自動車用ドアトリム | 31 弾肉部 |
| 11 樹脂芯材 | 32 菱形状リブ |
| 12 表皮材 | 33 スリット |
| 20 車両用アームレスト | 40 アームレスト表皮 |
| 30 アームレストコア | 41 スペーサリブ |

【図 6】



【図 7】

